

## 7 原子爆弾被爆地域の拡大(黒い雨)について

(厚生労働省)

### 提案の要旨

黒い雨降雨地域の全域の「第一種健康診断特例区域」指定に向け検討を推進すること。

### 現状及び課題

- 原子爆弾投下直後の黒い雨降雨地域住民には、当時、放射能に関係すると思われる障害が見られ、その後においても、被爆者と同様の疾病傾向がうかがわれることから、広島市とともに、黒い雨降雨地域全域を被爆地域に加えるよう要望した結果、国は、昭和51年9月に、黒い雨降雨地域の一部を健康診断特例区域に指定した。
- しかし、同様に黒い雨を体験した未指定地域の人々は、何の援護も受けられない結果となった。
- このため、広島市とともに、毎年、被爆地域拡大の要望を行ってきたが、未だ実現していない。
- こうした中、平成20年度に、広島市とともに、黒い雨を含む原爆被爆体験等について大規模な調査を実施した結果、平成22年3月の最終調査結果報告で、未指定地域にも黒い雨が降ったことが指摘された。
- これを受けて、平成22年7月に、関係市町と連名で、国に対し、「原子爆弾被爆地域の拡大に関する要望」を行った。
- この要望に対し、国は、平成22年8月6日の参議院厚生労働委員会で、年内に新たな検討組織を設置し、調査結果の検証を行い、必要な措置があれば考えていく、という方針を示しているが、黒い雨を体験した未指定地域の人々も、被爆者同様高齢化が進んでおり、早急な援護が求められる。

### これまでの取組状況

#### 【取組状況】

- |         |   |
|---------|---|
| 平成21年8月 | 広島市と連名で、国に対し、原子爆弾被爆地域の拡大に関する要望を含む「原子爆弾被爆者援護対策に関する要望」を実施 |
| 平成22年7月 | 関係市町と連名で、国に対し、「原子爆弾被爆地域の拡大に関する要望」を実施                    |

### 提案の内容

- ① 「広島市原子爆弾被爆実態調査研究会」による原爆体験者等健康意識調査で判明した黒い雨降雨地域の全域の第一種健康診断特例区域の早期指定に向け検討すること
- ② 実際の黒い雨の降雨地域は、今回の調査結果よりもさらに広がった可能性が否定できないことから、国において、黒い雨の降雨状況についてさらなる実態解明を進めること
- ③ 参議院厚生労働委員会で示した方針に基づき、早急に必要な措置を講じること

# 「黒い雨」降雨地域図

